



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

人口減少社会における地域づくり、 ICTを生かした地域活性化、水資源の課題と展望

牧 慎太郎 (まき しんたろう)

市町村職員中央研修所 副学長



○ 登録者情報

所在地

千葉県千葉市

略歴

昭和61年東京大学法学部卒業後、自治省に入省。

総務省では平成14年度から情報通信政策局地方情報化推進室長や自治行政局情報政策企画官として情報政策を担当するとともに、平成22年度から行政管理局管理官、平成23～24年度は地域力創造グループ地域自立応援課長を歴任。

また、北九州市企画局調整課長、島根県企業振興課長、北海道財政課長、兵庫県企画県民部長、熊本市副市長など地方経験も豊富。

平成16～17年度には経済財政諮問会議 日本21世紀ビジョン専門調査会 生活・地域ワーキンググループ委員も務めた。

著書・論文等

「ICTで変わる自治体経営戦略」(2006年7月)共著
分権型社会を創る 第5巻「分権型税財政制度を創る」(2000年12月)共著
分権時代の地方財政運営講座 第2巻「地域振興の戦略的展開」(1995年7月)共著

○ 人口減少社会における地域づくり、ICTを生かした地域活性化、水資源の課題と展望

取組の内容

ICT(情報通信技術)を活用した地域活性化を推進するため、地域コミュニティの住民交流サイトである地域SNSの全国的な普及に努めてきたほか、地方創生を推進するため、地域おこし協力隊、地域おこし企業人、域学連携などの政策ツールを活用した都会から地方への人の流れの創出に尽力している。全国各地で講演、パネリストとして登壇しているほか、島根大学、札幌大学、東京大学、明治大学、関西学院大学、人事院公務員研修所、市町村アカデミー等で非常勤講師等として講義も行った。

実績

(ICTを生かした地域活性化)

総務省で情報政策を担当した経験を生かし、兵庫県勤務時代に兵庫県の地域SNS「ひよこむ」(NPOが運営、参加メンバー6千4百人余)の創設に尽力し、第一回を神戸で開催した「地域SNS全国フォーラム」は全国持回りで10回以上続いている。

2017年のCode for Japan Summit にも登壇した。

(地方創生)

北九州市勤務時代に北九州活性化協議会と協力して八幡東区に温泉を掘り当て、公設民営の河内温泉「あじさいの湯」の開設につなげた。

北海道勤務時代には全国初の知事認定の北海道アウトドア資格制度を創設した。

兵庫県に勤務した4年間に県内100を超える山に登り、兵庫県山岳連盟や神戸新聞社と協力して「ふるさとひょうご100山」を選定し、登山ガイドブックの出版につなげ、再版を重ねてロングセラーとなっている。

総務省では「地域おこし企業人」につながる「若手企業人地域交流プログラム」を創設・推進した。

(域学連携)

地域と大学が連携して地域の活性化を図る「域学連携」について、平成24～25年度予算で国費モデル事業を展開し、早稲田大学、学士会館、石川県、京都府などで開催されたフォーラム等で講演、パネリストとして登壇。文部科学省コミュニティ・スクール企画委員会の初代委員として地域とともにある学校づくりの分野でも講演。

工夫した点や苦勞した点

新しいことに取り組むことに抵抗感がある人、なかなか動いてくれない人、できない理由を並べるとは得意な人も世の中には少なくありません。そうした中でも知恵と工夫と熱意をもって共感と共働の輪を広げていくことの重要性を痛感しています。

ひとことPR

眠れる資源を掘り起こせ！

知縁ネットワークを生かした創造的で持続可能な地域づくりを応援していきたいと思っております。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

○	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策	○	9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
○	5	定住促進	○	11	その他 (ICTを生かした地域活性化)
	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

牧 慎太郎のホームページ	https://maki13378.jimdo.com/
これまでの著作など	http://maki.holy.jp/chosaku0.html
最近の講演など	http://hyocom.jp/blog/?key=986&cid=2045

連絡先

メールアドレス	shintaro_maki[アットマーク]water.go.jp	その他	
---------	----------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。